

高齡者權利擁護推進員養成研修 実践報告

受講者番号：6
一ノ瀬 孝大

タイトル： 職員のストレス軽減、入浴拒否、排泄拒否の強い方に対してのケアについて

取り上げた動機…

- ・一人一人ストレスの感じ方は違っており、積み重ねが虐待に繋がると考えられる為
- ・入浴拒否、排泄拒否が強い方のケアについて対応方法を話し合うきっかけに繋がる為。
- ・快適な生活の場を提供できるようにする為。

事例として…

入浴拒否、排泄拒否(トイレ排泄、交換)が強い利用者に対して不適切な対応、ケアに繋がらない様にする為にはどの様にしたらよいか。



目標

- ・職員一人一人が多少でもストレスを解消し不適切なケアに繋がらない様に理解を深める。
 - ・利用者が快適に生活が出来る様な場を作れるようになる。
-

実習課題

- ・職員のストレス度合について
- ・入浴拒否、排泄拒否の介助におけるストレスとは
- ・利用者が思うストレスとは

実践内容・実践結果

実践内容

①職員へストレスチェックを行い、現在のストレスの数値を把握する。

チャットGPT作成・管理者・介護職員対象(7名)

実践結果

7名の職員へ実施を行い、**平均30.71点**でした。

ほとんどの方が高くストレスを抱えている事が数字で分かった。

高齢者権利擁護参考資料①

職員ストレスチェック表

各項目の質問に対して1～10の度合いで回答して下さい。

1. 自身が行う仕事は多く感じる事がある。

【1 2 3 4 5 6 7 8 9 10】

2. 仕事に対する疲れが中々取れない。

【1 2 3 4 5 6 7 8 9 10】

3. 入浴介助中の拒否にてストレスを感じる事がある。

【1 2 3 4 5 6 7 8 9 10】

4. 排泄介助中の拒否にてストレスを感じる事がある。

【1 2 3 4 5 6 7 8 9 10】

合計点数 点

実践内容

②職員が思う入浴拒否、排泄拒否におけるストレスとは？

入浴時のストレス

1. お誘いしても強い拒否が多くある。
2. 身体の拘縮が強くて酷く痛がる。
3. 限られて時間内で終わらせないといけない。
4. 介助量による身体への負担が大きい。

排泄時のストレス

1. 排泄物のおいに抵抗を感じる。
2. 誘導するタイミングが難しく感じる。
3. 交換に時間がかかってしまう。
4. パッドがずれて、横漏れしてしまう。
5. 声掛けしても大丈夫です。と断られる。

対応策会議

入浴時の対応

- 1 について：
 - ・入浴日である事や順番、時間など声掛けをすると多少は拒否が減る事があった。
 - ・世間話をしながらお誘いするとスムーズに誘導できる事がある。
 - ・あまりにも強い拒否がある時は入浴日を変更しても良いと思う。
- 2 について：
 - ・無理に動かすと痛みがあるので、本人の動く範囲で行う。
 - ・着脱がしやすい前開きの服が良いのでは。
 - ・泡を作り優しく洗うと痛みが出にくい。
- 3 について：
 - ・衣服の準備等は前日夜に準備を行っておく。
 - ・介助が必要な方を均等に振り分けして入浴日を再検討する。
- 4 について：
 - ・抱える介助などは二人対応で行う。
 - ・腰に負担のかからない様に重心に気をつけて介助を行う。
 - ・滑りやすいので滑り止めマットを使用する。

排泄時の対応

- 1 について：
 - ・換気を行いながら行う。
 - ・消臭スプレーの使用。
 - ・においを残さない様に交換後は新聞紙に包み袋へ入れる。
- 2 について：
 - ・そわそわ感、車いすから立とうとされる時は排泄したい時が多い。
 - ・日々の排泄記録を参考にして誘導するのも良いと思う。
 - ・食後、就寝前などは出る事が多い傾向だと思う。
- 3 について：
 - ・交換時に必要な物をまとめて近くに準備しておく则スムーズになる。
- 4 について：
 - ・ギャザーの立て忘れが多いのでしっかり立ててから着用する。
 - ・サイズの見直しが必要だと思う。
- 5 について：2 と同様の意見が多数。

実践結果

拒否に対するストレスが多数出て、解消につながる意見を話し合うことができ、情報の共有の大切さを実感できた

実践内容

③利用者が拒否を行う思いについてモニタリングを行う

Aさんの入浴拒否に対するストレス

日付	時間	拒否の回数	拒否の強さ(1-5段階)	拒否時の理由・様子	再度声掛けした様子・結果
10/7	9:00	1回目	4強い抵抗	「もうよかさ」「入らん」と声を上げられる	
10/7	9:20	2回目	2やや抵抗	「入らんよ」拒否はあるも、穏やか	日常会話の中で入浴へお誘いする。洪水入られる
10/10	9:20	1回目	4強い抵抗	「よか!」「せんで!」と声を上げられる	
10/10	9:30	2回目	3やや強い抵抗	「もう入らんよ」「寒い」とやや強い口調になられる	温かいお風呂ですよ。と伝えるも1回目と同じだった
10/10	9:50	3回目	2やや抵抗	「よかさー」拒否はあるも、穏やか	日常会話の中で温かいお風呂が沸きましたよ。と声掛けて誘導成功
10/13	9:00	1回目	5激しい抵抗	「やめて」と体に力を入れられる	
10/13	9:30	2回目	5激しい抵抗	「もう入らん」と職員の腕をはらう	日常会話をしながらお誘いするも拒否が強く、入浴日の変更を行う
10/14	10:00	1回目	1抵抗なし	昨日は入れなかったので入りましょうか。と伝えると「そうね」と入られる	
10/17	9:30	1回目	4強い抵抗	「もうよか」「入らん」と力を入れて抵抗される	
10/17	10:00	2回目	2やや抵抗	「いや入らん」拒否はあるも、穏やか	好きな食べ物の話をしながら誘うと笑顔見られる。誘導成功

5日間の状態観察を行った結果

拒否を行ったと思われる理由

身体の疲れや具合の状態による心身の疲労を理由に拒否を行うことがある事が分かった。

寒さで拒否を行う日は、気温的には暖かったが、高齢者は寒さに敏感で、脱衣所や浴室を温める事で拒否も少なく、抵抗なく誘導を出来る事を再認識する事が出来た。

入浴する事が面倒だと感じる方で、誘導する際も初めから入浴へ誘導すると強い拒否があられ、日常会話を行いながら誘導する事で、拒否も少なく、お互いに負担が少なく、入浴へ誘導する事が出来た。

あまりにも強い拒否がある日は無理をせずに入浴日の変更も一つの対応方だと分かった。

対応策会議

- ・バイタルやその日の体調の変化を確認しながら入浴の調整を行っていくようにする。入浴へお誘いする際は日常会話(昔話や趣味)などの話を行いながら話の流れでお誘いすると比較的に拒否は少ない。
- 拒否が強い日は無理にお誘いせずに、入浴日の調整を行い、対応を行う。

実践内容

③利用者が拒否を行う思いについてモニタリングを行う

排泄拒否

Bさんの排泄拒否に対するストレス

日付	時間	拒否の回数	拒否の強さ (1-5段階)	拒否時の理由・様子	再度声掛けした様子・結果
10/8	10:30	1回目	4強い抵抗	「まだ出ない」「行かない」と制止される。	
10/8	10:40	2回目	3やや強い抵抗	1回目と同様理由で拒否される。	明らかに失禁されているが交換に拒否あり。
10/8	10:55	3回目	1抵抗なし	居室に戻るとの事で移動されたタイミングでトイレ誘導。スムーズ。	何かのきっかけを作るとスムーズに誘導が出来そう。
10/9	10:20	1回目	3やや強い抵抗	「さっき行った」と拒否される。	
10/9	10:30	2回目	1抵抗なし	「行ってみようか」とスムーズに誘導。	ソワソワされており、排泄の声掛けを行い、誘導が出来た。
10/12	13:00	1回目	5激しい抵抗	「やめて」と体に力を入られる。	明らかに失禁されているが交換に拒否あり。
10/12	14:00	2回目	2やや抵抗	「さっき行ったよ」は話されるも表情は穏やか。交換に応じてくださる。	目が覚めたタイミングで交換の声掛けを行った。
10/13	10:00	1回目	4強い抵抗	「よか！」「他の人に行って」と強い拒否	男性職員が対応
10/13	10:10	2回目	1抵抗なし	抵抗なくスムーズに誘導出来た。	女性職員が対応

4日間の観察で分かった事
対応策会議

モニタリングする事で見えてきた理由として、
気分的に行きたくない状態、羞恥心、職員と利用者のリズムのずれ。がある事が分か
ってきました。

- ・時間で誘導するのではなく、排泄に行きたいサイン等で誘導を行ってみる。(ソワソワ感)
- ・排泄へ誘導を行うのではなく、居室や散歩等の理由でお誘いし、途中でトイレへ誘導を行ってみる。
- ・羞恥心から男性職員は拒否があり、なるべく女性職員で対応する。やむを得ない場合は説明し、様子を見る。

実践内容

④対応を基に5日間実践を行う。

入浴

日付	時間	拒否の回数	拒否の強さ (1-5段階)	実践内容	利用者の様子
10/20	9:00	1回目	2やや抵抗	体調確認の為、バイタルの測定、気分の確認を行い、朝食の話をしながら「お風呂行きましょうか？」と声掛けを行った。	「いやー、よかよー」と言われながらも穏やかに、浴室へ誘導する事が出来た。
10/23	9:30	1回目	4強い抵抗	前回同様の対応を行ったが気温の低下もあり、強い拒否があり、時間をお伝えし再度声掛けを行うことにした。	「今日は寒いからよか」と拒否される。
10/23	10:00	2回目	4強い抵抗	浴室、脱衣所温かくなりましたよ。とお伝えし、誘導を試みるも強い拒否継続してあり、入浴を中止して翌日の方と交代する。	「今日は入らん」「もう良か」と強い拒否あり。
10/24	9:00	1回目	2やや抵抗	バイタル確認後、「今日は天気も良く暖かいのでお風呂行きましょうか」とお声掛けを行った。	「寒いよー」と反応されるも、「昨日入らんやっけんねー」と話され、誘導が出来た。
10/27	10:00	1回目	3やや強い抵抗	バイタル測定にていつもより血圧の低下が見られ、入浴をお聞きすると拒否もあられ、中止する。	「きついねー」「今日はやめとく」と拒否される。
10/28	9:20	1回目	0抵抗なし	バイタル異常なく、今日は面会予定もあり、来られることを話しながらお誘いすると拒否なく誘導出来た。	「今日は〇〇が来るとか」「入ろうか」と前向き。家族の支援の大切さを実感する。

入浴

理由を基に4日間の実践を行った結果

日付	時間	拒否の強さ (1-5段階)	実践内容	利用者の様子
10/20	10:50	2やや抵抗	ソワソワされており、トイレの誘導を行う。	「行ってみようか」とやや拒否はあるも誘導出来た。
10/22	10:10	3~1	明らかな失禁あり。 ・誘導の声掛けを行う。 ・散歩を理由にお誘い。	はじめ、「まだよか」と拒否があり、散歩へお誘いすると「行く」との事で行く前にトイレへと伝えると拒否なく誘導出来た。
10/24	11:00	1抵抗なし	居室へ向かう途中に誘導	拒否もなくスムーズに誘導出来た。
10/25	13:00 14:00	3~1	明らかな失禁あり。 ・交換の声掛けを行う。 ・起床のタイミングで再度声掛け	「まだよか」と拒否される。 「起きる」との事で再度交換の声掛けを行い、抵抗なく交換出来た。

実践内容

- ⑤ 実践終了後再度職員へストレスチェックを行う。
→ 実践前と比較し軽減の確認を行う。

高齢者権利擁護参考資料①

職員ストレスチェック表

各項目の質問に対して1～10の度合いで回答して下さい。

1. 自身が行う仕事は多く感じる事がある。

[1 2 3 4 5 6 7 8 9 10]

2. 仕事に対する疲れが中々取れない。

[1 2 3 4 5 6 7 8 9 10]

3. 入浴介助中の拒否にてストレスを感じる事がある。

[1 2 3 4 5 6 7 8 9 10]

4. 排泄介助中の拒否にてストレスを感じる事がある。

[1 2 3 4 5 6 7 8 9 10]

合計点数 点

実践前

30.71



実践後

23.71

職員間で各自のストレスとなる課題を出し合い、他の方の意見の共有ができ、利用者のモニタリングを行うことで、拒否に対する理由などが分かり、お互いにストレス軽減につながった事が分かった

考察

職員に対してストレスチェックを行うことで、現在のストレス度合いを把握することができ、ストレスに対しての原因を見つけ出す事がスムーズになったと考えられる。拒否に対するストレスについては職員によって介助方法や対応方法が異なり、無理に対応していた事で職員、利用者共に負担が大きくなりお互いがストレスや拒否につながったと考えられる。原因についてモニタリングする事で拒否に対する理由などが分かり、拒否の少ない介助を行うことが出来、その結果職員のストレス度合いも軽減することが出来た。

今後の取り組み

今回の研修を通して職員はどうしても時間を気にしすぎて、肝心な利用者の思いなどを聞き入れる事が出来ていない事があるので、定期的に職員に対するストレスチェックを行い不適切なケアにつながる前に対策を考え、利用者の拒否に対するモニタリングを継続し、お互い快適にケアが出来るようにしていきたいと思います。また、職員の入れ替わりや入社職員がでた場合、その都度情報の共有を行っていききたいと思います。

ありがとうございました


